

# 社協だより あさご

朝来市社協

検索 



## 自分らしくあるために

～認知症を考える～

認知症になった大切な人や、いつか認知症になるかもしれない自分が  
安心してこの朝来市で暮らしていくために私たちには何ができるでしょうか？



# めに認知症の理解と支援を考える

## 誰にでも起こりうる認知症

現在、認知症は460万人を超え、認知症予備軍を含めると約900万人にものぼります。もはや糖尿病や高血圧のように、誰にでも起こりうる病気です。

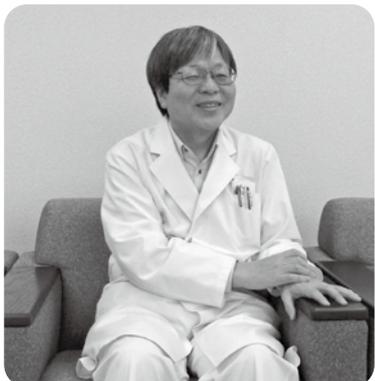
認知症と加齢によるもの忘れの違いについて、加齢による場合、ヒントにより様々な出来事を思い出すことができます。例えば、昨日食べたご飯のメニューを忘れても、選択肢が与えられると正しく選ぶことができ、さらに食事の様子なども思い出すことができます。しかし認知症の場合、出来事そのものを忘れてしまうので、食べたこと自体を覚えていません。人の頭の中には時間や場所、過去の経験などいろいろな情報が入っています。それらがうまく繋がらなくなるのが認知症です。

わが国では、アルツハイマー型認知症が最も多く5、6割を占めています。次に多いのが、脳梗塞や脳出血による血管性認知症と精神症状を伴うレビー小体型認知症です。アルツハイマー型では記憶力が落ち時間や場所が分からなくなり、生活にいろいろ支障をきたします。かなり症状が進んだ時期になると、家族の顔や自分がどこにいるかということも分からなくなります。レビー小体型では実際にはないものがあるように見える『幻視』、しっかりと見えているときとぼーっとしてしまふときがある『認知機能の変動』、歩きにくい・転倒しやすいなどの『パーキンソン症状』などが特徴です。

## 早期発見と予防が大切

認知症では適切な治療や対応を行うために早期発見が非常に重要です。認知症の人は、ひとりひとり性格や生活環境が違うため、症状が少しずつ違います。したがって、その人その人に合った対応を考えていくことが必要です。認知症の人が同じ話を何回もしたり、ちよつと怒りっぽくなったりする場合は、病気がそのような状態を起こさせているという見方で接することが非常に大切になってきます。このように周りの人々が認知症の人を理解し支援することで、ご本人は穏やかな充実した毎日を送ることができます。

現時点では認知症の治療薬としては、症状の進行を遅らせるものしかありません。予防方法のひとつとして、有酸素運動(軽く汗ばむ程度で無理なく行える運動、例えばウォーキング)が効果的です。週3〜4回、約30分間の運動を続けてみてはどうでしょうか。ただし、心臓や肺に病気がある人、体が不自由な人は注意が必要です。ので、医師と相談してください。



朝来市脳研会会長 (大植病院副院長)  
大川 慎吾さん

## エピソード episode

「認知症になると何も分からなくなってしまう」「認知症だから何もできない」そんな風に思いがちではないですか？

認知症の人にも、もちろん感情があり、心があります。施設で見せられた『その人らしい』姿をご紹介します。

1 Aさんの口癖は「人間はじつとじつたらあかん。蹴持って働かなあかん。」施設で泊まりの時は、「こんなどよーおらん。可愛い子が家で待つてるのに……はん作っちゃらんでどーする? ならあ?」と周りに同意を求められます。現在は娘さんとお二人暮らし。働き者の性格

# 誰もがいつまでも自分らしくあるた

## それって認知症？

認知症の症状は内臓疾患からくるものもあります。アルツハイマーや老化などの他に、体の病気によるもの忘れがあり、そういう体の病気を治療、手術で取り除くことによって、もの忘れが改善されます。具体的には、甲状腺機能の低下症、糖尿病、正常圧水頭症、脳腫瘍などの病気から認知症のような症状がみられます。早く対応すれば治るものがあるので、まずは、かかりつけのお医者さんで体の検査を受けてみる必要があります。

## 周りの方にも理解を

周りの方も「認知症では？」と感じ、ご家族の方に声を掛ける場合、「認知症」「もの忘れ」などの言葉から入らず、体の病気からくるもの忘れがあるので、「体の調子が悪いんじゃない？」「しんどいのでは？」そういうところから入っていくのがいいと思います。

## 役割感が安心感に

現代の高齢者は「働かざる者、食うべからず」という感覚が強く、役割を持つていないとこころにいてはいけないと感じてしまう傾向にあります。例えば「帰る」の一言にはいろんな思いが含まれます。ただ単に家に帰りたいのではなく、昔の記憶から「あの場所で頑張っていた自分を取り戻したい」という思いが込められている場合があります。それだけ「今の自分はできていない」という感覚があり、自分の居場所や役割がないという思いがあります。

ポイントは、そのままじゃなくてもいいということ。同じ洗濯物を何回たたんでもらっても構わ

ないのです。本人が「役に立った」と感じ、周りもそれで安心できるということが大事です。

## 認知症を受け入れるために

そして、100点の介護を目指す必要はありません。介護をまじめに捉えず、「あれもこれもせなアカン」「こんなことでなくてどうしよう」と思うと、受け入れるのを妨げることがあります。最初は5点で当たり前、1年後に60点取れば十分！くらいで気が楽になる方が受け入れやすいのではと思います。

一生懸命やる介護がいい介護と思っている人が多いですね。いかに自分が大変な思いをせず、能率よく介護をするかということを考え、周りもそれを支援し受け入れるべきです。介護者が遊んでいると罪悪感を感じてしまうような社会はよくないです。遊びに行つて、綺麗な服を着て、その上でいろんな制度を使つて能率よく介護をするつてというのが一番。一生懸命になりすぎて、しかも面で介護されても嬉しいはずですよ。その人の人生は介護が人生じゃなくて、その人の人生の一部にちよつと介護があるはずですよ。



大植病院 心理士

### 中山 隆人さん

#### 【主な仕事】

認知症の検査をもとに、個々の患者について医師や作業療法士など関係者と支援について考えておられます

と家族思いの優しさは、昔も今も変わらないままです。

2 「このお弁当、食べきれん量やわ。」「服買つてくれたけど、よう着れへん。」「と毎日のように同じ話をされるBさん。「そうか、そうか。しゃーないなあ。」「と優しい口調で、怒らせないように笑つて聞かれるCさん。毎日同じ話を聞くことに、「しゃーないわ。あの人は初めてのつもりで話してるんやから。」「笑顔で話し役、聞き役となり、施設の中でお互いに役割を担つて支え合つて過マされます。

3 施設で泊まりの日。「こんな大きなお家に泊めてもらつて。忙しいのに悪いなあ。」「Dさんは、ある職員の家泊まりに来たつもり。あくる日、同じ施設を利用され、他の利用者さんに「私な、あの人(職員)の家に行ったことがあるんやで。大きい家だなあ、2階もあつてなあ…」と思ひ出話に。

# 座談会

## 家族介護者が語る

**民部** 一番苦労されていることってどんなことがあるでしょうか？

**Cさん** 私はね、自分一人では介護できないっていうことはよくわかっています。介護関係の資格をと

り、勉強はしてきたつもりですが、学習してきたとおりのことは絶対できません。なので、どなたにも言ってます、「助けて下さい」って。「うちの主人が何時ごろに通ったいうことだけちょっと見とってよ」って、言ってます。主人がこういう状態やからということとは、隠さずに皆さんに理解してもらっています。

**Aさん** 世間では地域で見守る

認知症って言われていますけど、私は人に知られたくないという気持ちもあつたんです。でも、息子に「お父さんは認知症です」って近所の方には話をして、わかってもらった方がいって言われました。でも、私自身が理解していない。一番悪いの。認知症っていうのを認めてないんです。

**Bさん** うち是最初から言っていましたよ。「わし、ハイマーなんや」アルツハイマーのこと「ハイマー」って笑って。主人はピック病言うてね、歩き回るんですけど、道間違えたりとかせんと帰ってくるんです。そしたら、一回帰って来られへんようになって、夜に警察署、地域の人で大捜索。田んぼのぬかるみに足入っちゃって、こてんと倒れてしまつて。睡眠薬飲んどつたもんで朝まで寝てしまつてね。あれは12月ごろですかね。「心ドクターヘリで豊岡病院まで行って、どうもなかつてその日に帰ってきたんです。他にも、

### 参加者のプロフィールと介護状況

**Aさん**

夫が認知症で要支援1。仕事を3年前に辞め、要介護4の義母も介護され3人暮らし。

**Bさん**

夫が前頭側頭型認知症（ピック病）。徘徊や異食があり、昨年10月から施設入所。要介護5。

**Cさん**

夫が認知症で要介護1。寝てばかりで言葉を忘れそうな姿に戸惑いを覚えている。

**Dさん**

両親が認知症で要介護2。攻撃的な人格の変化に動揺。しかし、自分が変わることで相手も変わっていくことを実感。

コーディネーター

**民部 宏美**

(いきいき介護センター所長)

主任介護支援専門員として、介護保険サービスを利用される方の相談やサービス調整

異食があつて、犬の糞でもポケットに入れてね、かりんとうと間違えて食べたり。塩をいっぱい食べ過ぎて豊岡病院に運ばれたこともあつたんです。ICUに5日間入院しました。

**Dさん** 母がちょっとおかしいなあと思ひ始めたころに、父が「何が無い、どこにあるんや」と言った時、母が自分の頭の中で「あれ、自分がおかしい」と半分わかりかけてる部分があるんです。そこで初めて、認知症の人はこんな風にして自分の頭の中で葛藤しているんやっていうことを、そこ





で私初めて泣きました。もう可哀想で。

**Cさん** 私が外に出て帰りが遅いと鍵かけて電気消してしまっんです。せやから私、ガラス戸を壊して入ったこともあります。水風呂に入ったり。昔は孫

たちに「ご飯を肘ついて食べるな」「靴の後ろは踏むな」って言ったのに、今の自分は全然気にならないんですよ。人格が変わっちゃったみたいに。

**Aさん** 人格が変わるんですね。うちも温厚な主人だったのに、孫にすごく怒るんです。

**Dさん** ひ孫にもすごく怒りますよ。  
**Aさん** 孫がね、「じいちゃん焼肉のタレ、何にする？」って聞いた時「じいちゃん何でもええわな」ってつい言ったんです。「ばあちゃんに聞いとれへん、じいちゃんに聞いとんや」って。私は主人は何もできない、言えないかと思ってしまってるけど、孫たちはおじいちゃんの認知症を理解している。息子も「俺の名前がわからなくなってもいい」とって。みんなが理解してくれているのになんで私だけ理解できないのやろと思っって、毎日毎日イライラして…。

**Dさん** 孫や小さい子に対する思いもね、家族が

変わってくれば、少しずつ変わってきます。

**民部** 時間はかかりますよね。認知症の方って確かに大変なこともあるんですけど、笑ってしまいうこともありますよね。

**Cさん** あります。お正月に、「兄弟みな集めて東京旅行に連れて行く」って言うんです。年金を使っで。気楽でええなあとと思っって。

**Bさん** 人の顔じいっと見たらうちの人はワハハハって笑うんですよ。笑うのが挨拶なんです。他の利用者さんが嫌がる時もあつたけど、私にしたら笑うことってすごくいいなあと思っってね。

**Cさん** 1日のおやつを用意しとつても、全部食べ

てしまっんですよ。なんぼ食べたかもわからんよになつて。なくなつたら仏壇の所に行つたらお供えがあるとわかつてるから、仏壇の所に行つて食べてます。

**Dさん** 洗濯物を置いてて、少し目を離したらもうないんです。探してもどこにもないんです。主治医の先生に、こんな状態やっていうことを



編みかけのマフラー。認知症のお母さんが娘のために

知ってもらいたくて言つたら、「介護の初歩じゃないですか。その時にすぐにしなければ」と言われて、目からウロコでした。それから私変わりました。

**民部** これから認知症の方を支えていくにあつて、どのようなサービスや支援があれば助かると思われませんか？

**Aさん** 要支援が切られてしまっうって話を聞いて、サービスや支援が切られてしまつたらどうしようって不安がありますね。

**民部** 朝来市では、平成29年4月から介護予防サービス(要支援1・2の方が該当のヘルパー訪問、デイサービス通所が総合事業

の「介護予防・生活支援サービス」という枠組みに移つていくようです。その方の状態に合わせていろいろなサービスが提供できる予定です。施設利用についてはどうですか？

**Bさん** 入所の話をいただいた時は、急なことで戸惑いもありましたけれども、今は入所させていただいて感謝しています。



**民部** 安心な反面、家庭とは違った生活に気になるところがありますね。

**Cさん** 預かっていただける時はほっとしますよ。うちの主人は、「施設はほうけた人が行くところ、わしほうけてへんで」って嫌がるんです。でも「ボランティアに行くんやで、みんな待つとるで」って言うと行くんです。施設でもボランティアらしいことさせてもらうようお願いしてね。お昼の献立を書いたり、ちよつとそれらしいことさせてもらうとるみたいです。

**Aさん** 行く意味を理解していないから、すごい嫌がってます。

**Dさん** 月曜から金曜までデイに父母2人で行ってらっしゃいますが、やっぱり自分の時間が欲しい。ボランティア活動をしてるんですけど、去年は全然できなくて…。いろんな方の話をいっぱい聞いたり、また自分のことも話せるし、すごい自分にとって気持ち軽くなる場所なんです。だからそれは続けたいし、でも、迷惑かけるしって思うとって…

**Cさん** ボランティア、続けて続ける、自分のために。自分ができるところはできるように、できないところ

ろは助けてもらって。私は、ボランティアに月10日ぐらい出て、そして料理教室と手芸教室で教えるんです。気分転換ができるだけでも自分のため。何でそこまでして他の人はそれが大変やと思ってやけど、私にとっては一番のリラックスタイムなんや。

**民部** 自分の人生なので、自分が幸せで楽しくないといひ介護はできないかと思うんですよ。そのためには声をあげて、わかってもらいながら周りみんなに協力してもらって、自分の時間を作るような努力が必要ですよ。

**Cさん** 自分のために時間を使った日はいつもより思いやりをもって介護できますよ。ちよつと優しい言葉のひとつでもかけようかな。

**Aさん** 私はまだ余裕がないです。でも今お話を聞いて「自分が変わらない」とって。気持ち新たに主人と向き合えないといけないなと思いました。

**Cさん** 自分の中に閉じこもったらあかん。オープンな気持ちで外に出ましよう。私も1回しかない人生やから、自分のために時間を使いたい。そこから努力して。助けてもらえるところ、他人さんでも助けてくれてやから。

**民部** やっぱり外に出ようと思ったら、介護サービスや地域の方の支援があつたり、介護と自分の時間のバランスをとりながら、徐々に自分の時間



も大切にしていけたらと思います。ひとりじゃないので、周りに目を向けてください。

**Cさん** 私ね、自分が困ったことは「こうしたら助かったよ」いうことを教えてあげるんです。主人がね、よくトイレに行くんですけど、「おかあちゃん、トイレどこやわからへん」言うて毎晩毎晩起こされる。これ困ったことやなと思てね、嬢嬢に話したら、部屋を出たらバツと電気が点くやつ、トイレまでの廊下にそれ付けてもうたんです。

**Bさん** うちの反射する工事用ベストにGPS機器を縫い付けてもらってね。自分ではとれないように、手の届かない背中のあたりにね。インターネットで調べてもらたら、「あつ



GPS 機器をベストにつけて外出されていました

「ここにおるわ」いうてねわかつてね。出る時は絶対それを着せてね、行かしたつたんです。それで2回ほど助かりました。

**民部** お話しすると、いろんな工夫されていることを教えてもらえますね。それでは最後に感想をお聞かせください。

**Aさん** みなさん、同じ悩みを持っておられる方と色々なお話を聞かせていただいて、主人もこれからどんどんひどくなるかもわかりませんが、今日のいろいろなお話をまた活かしていけるように心がけていきたいなと思います。たくさんサービスで助けていただいていますので、それはいつも感謝しています。

**Bさん** うちオープンにしていたことで、モデルケースみたいに区長さんや民生委員さん、施設の方など集まって3回ほどカンファレンスしてもらったんです。地域の方や親戚にはすごい世話になって感謝しています。ボランティアは車に乗らないのでできないけど、私は私なりにやっていきたいと思うっつるんです。花植えたりとか。

**Cさん** 義母を13年間寝たきりで介護し、見送ってほつとし



たら次は主人。今思えば、寝たきりのおばあちゃんの方がよっぽどよかった。主人はわかる部分とわからない部分があるから、そこが大変です。時によってはこんなわからないようになって、このまんま死ぬんかいなって思ったら可哀想にもなりますね。やから精いっぱい世話しないかと思ながらもね、どつかでイライラしてますわ。やっぱり認知症の介護をしたことがある人や今関わってる人、そういう人と話をする事によってお互いが教え合ったり、理解しあつたりするといつことが、ちよつとほつとする部分があるかな。

**Dさん** 話を聞いて、認知症の方に寄り添うという事は、本当にその人の状態を全て受け入れれないと寄り添うことなんてできない。実際にそういう経験のある方に自分の思いを話したらわかつてもらえる。こういう場で話させてもらうのは、すごく、安心？癒し？なんかそういう部分もありますね。やっぱり言葉で聞いたりするのはとてもいいことやなと自分自身、納得といつか癒されました。とつてもよかつたです。それと、今日ボランティアの背中を押されたような気分です。

**Cさん** 今日はいいい介護しますよ。ね、みなさん。

**民部** 気持ちの上で、みなさんお互いに励まし合えたかなと思います。お願いは、こういう会があつて、いろんな悩みや思いを発散して、後悔のない介護をしていただいで、最後には大変やつたけど良かつたなって、思える介護をしていただいで、

たらと、強く願います。本当に今日はありがとうございました。ございました。

今回の座談会を終えて、同じ悩みを持った方と話をし、知恵をもらつたりする場が本当に大切だと感じます。そして、サービスを使つたり、認知症をオープンにしたり、地域の人に助けてもらつたり、息抜きをしたりすること、いい介護に繋がっていきます。助けてもらうことで感謝することができ、そうすると心穏やかになりお互いを思いやり幸せな気持ちを持つて介護していけたらいいなと思います。認知症の方を介護されている方、今はされていない方、お互いに助け合い支え合える地域をつくつていきましよう。



# 優しく包み込むような 地域でありたい!

地域福祉活動に  
取り組む方たちより

物部区



長年続けられている地域ミニデイの様子です

## ちょっと気になるあの人だから、今まで通りに!

平成12年より始めた「地域ミニデイ活動」、昨年より始めた「ふれあい喫茶<sup>(※)</sup>」は、地域の多くの方に喜んでいただいています。

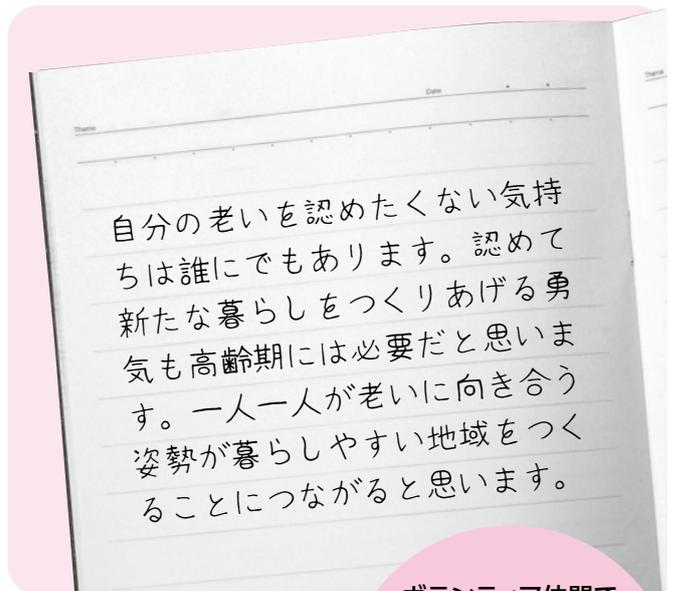
今まで地域の色々な方とこれらの活動をとおして関わりがありました。中には認知症があるのかな?と思われる方もおられましたが、そのような方にはさらに声掛けを増やしたり、その方の近隣に住むボランティア仲間に普段から少し意識してもらうなど配慮しながら見守っています。

## 心配な人が

認知症だけではないですが気になるような方がおられた場合、地域包括支援センターなどの福祉機関に繋ぐことは本当に大事なことだと思っています。

その方にとっても地域ミニデイなどの地域福祉活動以外に、制度による必要なサービスが活用できる事は必要なのではないかと思います。

以前、気になって見守っていた独居高齢者の方が急におられなくなった事がありました。そんな時、福祉機関に相談し無事が確認できた時には本当にホッとしました。



自分の老いを認めたくない気持ち  
は誰にでもあります。認めて  
新たな暮らしをつくりあげる勇  
気も高齢期には必要だと思いま  
す。一人一人が老いに向き合う  
姿勢が暮らしやすい地域をつく  
ることにつながると思います。

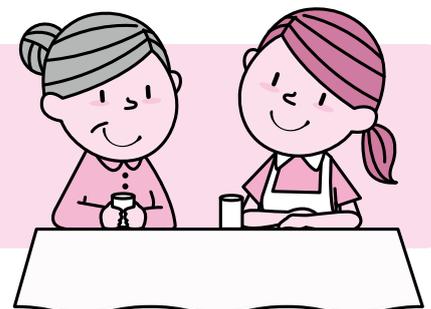
## 地域で「見守る」とは!?

もちろん「地域ミニデイ」「ふれあい喫茶」で意識はしますが、四六時中、気になる方を見守り続ける事が出来るはずありません。また、民生委員の方だけが見守りすれば良いというものでもないのです。

認知症だからと関わりを止めるのではなく、普段からの近所の優しい声掛けが大事です。地域ミニデイなどの地域福祉活動がきっかけとなって、地域で・隣近所で『見守ろう』という雰囲気を作っていく事が一番大事だと思います。

ボランティア仲間で  
「老いる」事をテーマに  
話し合いをされています。  
学びを深められる中で、  
このような「思い」を  
持たれながら活動を  
されています。

今回のお話をお聞きして、普段のお付き合いは認知症になっても変わらない、むしろ優しく包み込むような地域づくりにご尽力されている様子が伺えました。



※地域の高齢者が公民館でコーヒーを飲みながらお話を楽しまれています

# 赤い羽根共同募金運動に あたたかいご協力 ありがとうございました!!

平成26年10月1日から12月31日の期間において、朝来市の「まちを良くするしくみ」をスローガンに実施いたしました「赤い羽根共同募金運動」に、市民の皆様をはじめ、事業所、団体、職場、学校など、多くの方々より心あたたまるご協力をいただきましたこと、厚くお礼申し上げます。



あかばねちゃん  
朝来市共同募金委員会

## ●赤い羽根共同募金のご報告

平成26年度  
募金実績

# 9,240,368円

戸別募金	法人募金	職域募金	学校募金	街頭募金	その他の募金
6,723,158円	2,077,300円	222,774円	129,018円	73,618円	14,500円
区長さんを通じて各世帯にお願いした募金	企業や事業所、団体等にお願いした募金	官公庁・会社・施設等で取り組んでいただいた募金	小中高の児童・生徒のみなさんに協力いただいた募金	各地域の店舗前やイベント会場等で協力いただいた募金	個人等で直接いただいた募金



## ありがとうございました やさしい心を朝来市へ

皆様にご協力いただいた募金は平成27年度に朝来市共同募金委員会を通じてその約9割が朝来市社会福祉協議会に配分され、次の事業に役立てられる予定です。

### ボランティアグループ 育成助成事業

地域ミニデイ、子育て支援等、ボランティアグループへ助成

### 広報・ホームページ 活動事業

「社協だよりあさご」の発行やホームページ等での情報発信

### 福祉教育活動 助成事業

市内各学校の福祉教育活動への助成金を交付

### ほっとコミュニケーション 事業

75歳以上のひとり暮らし高齢者の誕生日にお花とメッセージカードを持って訪問

### 配食サービス 事業

障がい者や70歳以上の高齢者の方に昼食のお届けとともに安否確認

### 地域支え合い 体制づくり事業

生きがい、情報交換のできる地域・お互いが支え合う地域づくり

### 地域とまり木 事業

誰でも気軽に立ち寄れる地域交流スペースの運営

### 地域をつくる 市民応援助成事業

市内で福祉活動されている団体やボランティアへ助成

### “のぞみ” 宿泊訓練事業

あさごふれ愛の郷ご利用者が日常生活の自立訓練をしながら宿泊体験

●問い合わせ／朝来市共同募金委員会 朝来市社会福祉協議会生野支所内 TEL.679-3053



## 「地域の子どもは地域で育てる!」を応援

ある地区では、地域の高齢者と子どもとの交流促進事業を考えられていることをお聞きし、訪問しました。「地域の子どもたちが悪いことをしていたら地域の大人が『叱る』、良いことをしていたら『褒める』という、地域の子どもは地域で育てていく地区にしたい」という区長さんの思いがあります。そのために、区内の歴史を次世代につなげる“地域内ウォーキング”や、竹トンボや紙ヒコーキなどの手作りおもちゃを使った昔遊びなどを子どもたちに継承できるような取り組みを考えておられます。

この地区では祭りや運動会など区内行事も定期的な実施され、また、老人クラブを中心にミニデイを開催されています。この区が思い描かれる世代間交流の実現に向けて、地域支援員は他の地区での活動紹介などをしながら支援し関わりを深めていきたいと思えます。



### 様々なボランティア活動を安心サポート!!

平成27年度「兵庫県ボランティア・市民活動災害共済」の受付を開始します。

みなさまに安心してボランティア活動をしていただくため、ボランティア災害共済の加入をお勧めしています。

保険料

**1名500円(年間)**

※ボランティア登録いただいている方は社協が200円を負担

補償内容

ボランティア本人のケガや第三者の身体・財物への損害にも対応

補償期間

受付翌日～年度末まで安心

※補償対象は加入された翌日から3月31日までとなっています。4月1日から補償を開始されたい場合は3月1日～3月31日までに手続きをしてください。

各支所窓口で加入申込書に必要事項をご記入の上、掛金を添えてお申し込みください。

詳しい内容については、各支所にお問い合わせください。

## アイフェスタ 2015 in 豊岡

目が見えない、見えにくい人のための日常生活や仕事に役立つ福祉機器、ユニバーサルデザインのグッズなどの機器展が開催されます。

### 第12回視覚障害者のための総合福祉機器展 『より快適な、より便利な生活をめざしましょう!』

日時 3月29日(日) 10:30～15:30  
会場 豊岡市民プラザ 市民活動室  
豊岡市大手町4-5 アイティ7F  
(JR豊岡駅に直結)

入場料 無料  
主催 日本網膜色素変性症協会(JRPS)兵庫県支部  
お問い合わせ メールアドレス  
jrpsyogo@gmail.com(受信専用)  
吉井さん 090-1148-1622  
山根さん 090-5978-3412

関心がおありの方、ぜひご参加ください!

※目が見えにくい方のために白黒反転にしています

# ダイナム兵庫和田山店様ありがとうございました!

全国にチェーン展開されている株式会社ダイナム様は、景品の入れ替えを活用し「おもちゃ」を地域の福祉施設に贈呈されるなど地域密着型の娯楽施設として、社会貢献活動をされています。



この度、その活動の一環としてダイナム兵庫和田山店様より本会にたくさんのおもちゃをいただきました。障がい児施設「あさごふれ愛の郷Y・O・U・愛センター」の子ども達は新しいおもちゃに大喜び!!

素敵なプレゼントをありがとうございました。

## やりがいと生きがいのある「介護」の仕事に向けて

介護員養成研修事業（介護職員初任者研修課程、通学）

昨年10月に開講しました「介護員養成研修事業」。130時間余りの講義・演習そして施設での実習を終え、受講生8名の方が晴れて2月26日に研修を修了されました。すぐに介護の仕事に就かれる方もあり、これからの活躍を心から期待しています。



講義だけでなく▶  
演習(実技)も!

研修を受講された方からの声(抜粋)

**Aさん**  
10数年前から介護の資格を取りたいと思っており、最後のチャンスと思い、今回思い切って受講しました。テキストの内容は難しく、なかなか覚えられず苦労しましたが、最後まで仲間とあきらめずに頑張り、テストにも合格できました。本当にうれしかったです。

**Bさん**  
自宅から近くでの開催で2回のペースは自分自身の生活リズムにピッタリで無理なく、最後まで休むことなく受講出来ました! 心配だったテストにも合格しました。非常に達成感があり充実した時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

## 心配ごと相談

気になる事はまず相談!  
電話での相談もお受けします。

- 相談日: 毎週水曜日 ● 時間: 午後1時~4時
- ◆ 相談内容は秘密厳守ですので、安心してご相談下さい。
- ◆ 相談費用は無料です。
- ◆ 平成27年5月の生野支所、9月の朝来支所については、日程にご注意ください。  
(平成27年4月~平成27年9月)

支所名/場所	4月	5月	6月	7月	8月	9月
生野支所	1日	7日	3日	1日	5日	2日
和田山支所	8日	13日	10日	8日	12日	9日
山東支所	15日	20日	17日	15日	19日	16日
朝来支所	22日	27日	24日	22日	26日	24日

## 結婚相談

- 相談日: 各支所で異なります
- 時間: 午後1時30分~4時
- ◆ 相談は、絶対秘密を守ります。
- ◆ 相談費用は無料です。
- ◆ 本会各支所で受け付けさせていただき、結婚相談員が対応いたします。



- 生野支所 生野老人福祉センター TEL.679-3053
- 和田山支所 朝来市役所南庁舎 TEL.672-0440
- 山東支所 山東老人福祉センター TEL.676-5215
- 朝来支所 朝来老人福祉保健センター TEL.677-1606

# 善意銀行だより

平成26年12月1日～平成27年1月31日

## 生野

- 供養預託
- 金銭預託
  - ・3区 高岡 聡 (亡父)
  - ・6区 中野かおり (亡母)
  - ・6区 財満 則行 (亡母)
  - ・北真弓 藤原 茂一 (亡父)
  - ・栃原 白井誠二郎 (亡父)
- 善意の預託
- 金銭預託
  - ・朝来市シルバー人材センター生野地区 (年末イベント売上金の一部)
  - ・生野町仏教会 (歳末托鉢浄財)
- 物品預託
  - ・匿名1件
- 物品預託
  - ・上生野 杉野 種一 (野菜)
  - ・黒川 田畑 廣治 (野菜)
  - ・黒川 竹村 政雄 (野菜)
  - ・NPO法人リョービ社会貢献基金 生野部会 (車いす他)
  - ・朝来更生保護女性会 (野菜)

- ・玉置 平井ゆかり (亡母)
- ・柳原 細見美登里 (亡夫)
- ・久田和 夜久 進 (亡母)
- ・竹田上町 安田 朝子 (亡母)
- ・竹田新町 足立 義美 (亡母)
- ・竹田新町 中井 妙美 (亡父)
- ・東町 安福 茂準 (亡母)
- ・安井 吉田 睦子 (亡夫)
- ・加都 片桐 仁 (亡母)
- 善意の預託
- 金銭預託
  - ・糸井大蔵仏教会
- 物品預託
  - ・土田 竹森鐵工株式会社 (小型除雪機)

- 物品預託
  - ・匿名1件 (介護用品)

## 朝来

- 供養預託
- 金銭預託
  - ・桑市 衣川 正巳 (亡義母)
  - ・多々良木 友前 武夫 (亡妻)
  - ・多々良木 加門 俊博 (亡父)
  - ・新井3区 和田 美春 (亡弟)
  - ・佐中 進藤 信子 (亡夫)
- 善意の預託
- 金銭預託
  - ・立脇 篠沢 重久
  - ・木村医院職員一同 (2件)
  - ・匿名1件 (車椅子借用礼)
- 物品預託
  - ・匿名1件 (日用品)
  - ・匿名1件 (介護用品)

## 山東

- 供養預託
- 金銭預託
  - ・野間 岩村 昇 (亡母)
  - ・諏訪 小山 俊一 (亡父)
  - ・山歳 佐田 徹 (亡父)
  - ・与布土 藤本 成正 (亡母)
  - ・三保 西草 昌市 (亡母)
- 匿名1件 (亡母)
- 善意の預託
- 金銭預託
  - ・山東町仏教会 (歳末托鉢浄財)
  - ・山東民生委員児童委員協議会 (12月)

## その他

- 善意の預託
- 金銭預託
  - ・但馬地域兵庫県職員一同 (歳末愛の志)
- 物品預託
  - ・株式会社 ダイナム (雑貨、他一式16点)

(敬称略・順不同) ※名前、預託内容、金額等については、申込者に承諾をいただいて掲載しています。

発行日/2015年3月5日

発行/社会福祉法人朝来市社会福祉協議会  
TEL.079-676-5213 FAX.079-676-5214

【E-mail】 asago-sishakyo@sasayuri-net.jp  
【FAX】 http://www.asagoshakyo.jp/  
【ブログ】 http://blog.goo.ne.jp/asagoshakyo/ (みんなの朝来市社会福祉協議会)

朝来市社協 検索



## 恒例の生野福祉バザーを開催します!

- とき 3月15日(日) 10~12時
- ところ 生野老人福祉センター

市民の皆様から、多数の品物の提供をいただき開催します。  
この福祉バザーと合わせて、いくの地域自治協議会まなび部会の「子育て支援リサイクルバザー」、生野民生委員児童委員協議会による「つきたて餅の販売」、婦人共励会、あさごふれ愛の郷かがやきのバザーもあります。  
皆様、ぜひお越しください! お待ちしております。

## 名刺の準備はお済みですか?

3月になり、新年度がすぐそこまでやってきました。

あさごふれ愛の郷あおぞらの名刺は、市販の紙とは違った温かみのある紙であなたの新たな出会いを応援します。デザイン・料金等はお気軽にご相談下さい。

皆さまからのご連絡、心よりお待ちしております。

- 問い合わせ先  
あさごふれ愛の郷あおぞら  
TEL.079-677-1613  
担当: 今井・小野山



編集後記



施設に勤務して6年の間にご利用者から多くのことを学びました。例えば、「一番はじめは一の宮、二は日光東照宮、三は〜」、明治後期から昭和時代にかけて、全国で歌われた手まり歌・お手玉歌のひとつだそうです。認知症のご利用者が散歩中によく唄っておられ、メロディーもテンポもよく、私も覚えることができました。「孫が“ばあちゃん抱っこ”言うてなあ」とこの歌の思い出をととても素敵なお手玉歌を浮かべながらお話されます。高齢になっても、認知症になっても、子どもや孫を愛する気持ちに今も昔も変わらないんだなあと感じます。人生の大先輩でもあり、厳しい時代を家族のために頑張ってきた方たちと一緒に過ごし、多くを学べる…そんな毎日に感謝! です。